



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワタミ株式会社

コード番号 7522 URL <http://www.watami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 邦晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長

(氏名) 小田 剛志

TEL 03-5737-2703

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	24,460	△29.1	△591	—	△568	—	△645	—
28年3月期第1四半期	34,516	△12.5	△954	—	△1,245	—	△1,542	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △795百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △1,541百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△16.52	—
28年3月期第1四半期	△41.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	45,101	—	17,905	—	38.9	—	448.83	—
28年3月期	50,767	—	19,099	—	36.9	—	479.23	—

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 17,546百万円 28年3月期 18,735百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	49,000	△29.6	△1,000	—	△1,000	—	△1,300	—	△34.81
通期	100,000	△22.0	100	—	200	—	200	△97.4	5.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	41,686,780 株	28年3月期	41,686,780 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,592,519 株	28年3月期	2,592,469 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	39,094,273 株	28年3月期1Q	37,345,121 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果から景気回復が期待されておりましたが、中国を始めとする新興国の景気減速や英国の欧州連合からの離脱決定に伴う急激な円高や株価の下落等、本格的な景気回復には至っておらず、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客様のありがとうを集める活動を展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①国内外食事業

国内外食事業におきましては、1店舗を新規出店いたしました。一方では10店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数は484店舗となりました。既存店売上高前年比は100.3%、既存店客数前年比は100.3%となっております。あわせてコスト削減施策等を引き続き実施し、黒字化に向けた改善が進んでおります。その結果、国内外食事業における売上高は11,472百万円（前年同期比101.5%）、セグメント損失は438百万円（前年同期は503百万円の損失）となりました。

#### ②宅食事業

宅食事業におきましては、当四半期連結会計期間末の営業拠点数は537ヶ所となっております。6月の最終週における調理済み商品の平日1日あたりお届け数は221千食（前年同月最終週は240千食）となっております。新規顧客獲得に苦戦しておりますが、商品製造拠点における生産性向上が図られております。その結果、宅食事業における売上高は8,732百万円（前年同期比94.8%）、セグメント利益は530百万円（前年同期比154.3%）となりました。

#### ③海外外食事業

海外外食事業におきましては、3店舗の新規出店を実施いたしました。一方では4店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間末の店舗数96店舗（前年同期は107店舗）となりました。既存店売上高前年比は94.7%、既存店客数前年比は90.2%となっております。香港など好立地における新規出店の一方で不採算店舗の撤退等による収益改善に努めております。その結果、海外外食事業における売上高は3,483百万円（前年同期比84.6%）、セグメント損失は73百万円（前年同期は211百万円の損失）となりました。

#### ④環境事業

環境事業におきましては、再生可能エネルギーを中心とした電力小売事業を中心に展開しております。売上高は615百万円（前年同期比100.9%）、セグメント損失は10百万円（前年同期は142百万円の利益）となっております。

#### ⑤農業

農業におきましては、有機農産物の生産、酪農畜産および乳加工品製造を行っております。売上高は156百万円（前年同期比100.2%）、セグメント損失は20百万円（前年同期は58百万円の損失）となっております。

当第1四半期連結累計期間における企業集団の成果は、介護事業の撤退の一方で国内外食事業・宅食事業および海外外食事業における収益改善に努めた結果、売上高24,460百万円（前年同期比70.8%）となり、営業損失は591百万円（前年同期は954百万円の損失）、経常損失は568百万円（前年同期は1,245百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は645百万円（前年同期は1,542百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比5,666百万円減少して45,101百万円となりました。流動資産は同4,487百万円減少の20,226百万円、固定資産は同1,179百万円減少の24,874百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は外食店舗設備のリース資産の償却等により前期末比729百万円減少の13,684百万円となりました。無形固定資産は、ソフトウェアの償却等により前期末比161百万円減少の1,523百万円となりました。投資その他の資産は、差入保証金の減少等により前期末比287百万円減少の9,666百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比4,473百万円減少の27,195百万円となりました。流動負債は短期借入金や未払法人税等の減少等により同3,364百万円減少の15,532百万円、固定負債は長期借入金やリース債務の減少等により同1,108百万円減少の11,663百万円となりました。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金及びリース債務の合計額）は、前期末比1,836百万円減少の13,406百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の減少等により前期末比1,193百万円減少して、17,905百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 継続企業の前提に関する重要事象等

### (1) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度においても、1,132百万円の経常損失となり、2期連続の経常損失を計上しております。また、当社グループの主力事業である国内外食事業は、前連結会計年度においても1,535百万円の営業損失を計上し、3期連続の営業損失となっております。

また、当第1四半期連結会計期間においても、568百万円の経常損失、国内外食事業は438百万円の営業損失を計上しております。

国内外食事業は、前連結会計年度において3期連続の営業損失となっており、立て直しが急務となっておりますが、当第1四半期連結会計期間において既存店売上高前年比は100.3%となるなど、業績は回復傾向にあります。

単価の引き下げ、店舗オペレーションの改善およびコスト削減の施策を継続しながら、自社農場・牧場を有するグループとしての強みを活かしたメニュー変更、地域食材の導入・専門料理へ特化した業態への業態転換を実施することなどにより、既存店客数前年比も100.3%となりました。

さらに、6月より「和民」からの業態転換として「ミライザカ」の展開を開始、商品訴求を強めた新ブランドとして好調に推移しております。また、7月からは「わたみんな」からの業態転換として「三代目鳥メロ」の展開を予定しております。2016年度は、全体で80店舗程度の業態転換を行い、既存店売上高の伸びを牽引することにより、既存店売上高が前年比100%を超えることを計画しております。

財務面では、借入金残高を上回る現預金を引き続き保有しており、グループの年間設備投資額も2,000百万円程度予定するなか、当面の資金繰りに懸念はないと考えております。

売上獲得、収益改善に向けた施策を積み上げていくことで、国内外食事業の営業利益の黒字化を達成するとともに、連結経常利益の黒字化も果たしていけると考えております。また、株式会社横浜銀行をはじめとした主要取引行の支援も継続して受けられる見込であります。

現在、これらの対応策を進めているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,052	15,044
売掛金	2,105	1,900
商品及び製品	259	197
仕掛品	110	182
原材料及び貯蔵品	549	509
繰延税金資産	39	42
その他	2,640	2,371
貸倒引当金	△42	△20
流動資産合計	24,714	20,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,812	33,500
減価償却累計額	△23,932	△24,104
建物及び構築物(純額)	9,880	9,396
機械装置及び運搬具	1,046	1,044
減価償却累計額	△624	△631
機械装置及び運搬具(純額)	421	412
土地	572	572
リース資産	7,529	7,476
減価償却累計額	△4,862	△5,030
リース資産(純額)	2,667	2,446
建設仮勘定	22	3
その他	3,094	3,165
減価償却累計額	△2,244	△2,311
その他(純額)	849	854
有形固定資産合計	14,413	13,684
無形固定資産		
投資その他の資産	1,684	1,523
投資有価証券	98	66
差入保証金	8,361	8,085
繰延税金資産	214	213
投資固定資産	733	733
減価償却累計額	△654	△657
投資固定資産(純額)	78	75
その他	1,407	1,431
貸倒引当金	△205	△204
投資その他の資産合計	9,954	9,666
固定資産合計	26,053	24,874
資産合計	50,767	45,101

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,467	3,007
短期借入金	5,469	4,654
リース債務	1,346	1,261
未払金	1,990	2,032
未払法人税等	2,060	209
未払費用	2,780	2,584
賞与引当金	405	349
販売促進引当金	97	97
その他	1,278	1,335
流動負債合計	18,897	15,532
固定負債		
長期借入金	6,173	5,471
リース債務	2,253	2,019
資産除去債務	2,952	2,867
その他	1,392	1,304
固定負債合計	12,771	11,663
負債合計	31,668	27,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	12,837	11,800
自己株式	△4,127	△4,127
株主資本合計	18,122	17,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	3
為替換算調整勘定	605	457
その他の包括利益累計額合計	613	461
新株予約権	326	319
非支配株主持分	37	39
純資産合計	19,099	17,905
負債純資産合計	50,767	45,101



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	34,516	24,460
売上原価	18,115	10,209
売上総利益	16,400	14,251
販売費及び一般管理費	17,355	14,843
営業損失(△)	△954	△591
営業外収益		
受取利息	36	4
設備賃貸収入	114	101
協賛金収入	61	51
助成金収入	146	13
雑収入	196	116
営業外収益合計	555	287
営業外費用		
支払利息	648	53
設備賃貸費用	106	95
持分法による投資損失	10	4
雑損失	80	110
営業外費用合計	846	264
経常損失(△)	△1,245	△568
特別損失		
固定資産除却損	6	10
リース契約解約損	10	-
減損損失	52	23
特別損失合計	69	33
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,314	△602
法人税、住民税及び事業税	157	88
法人税等調整額	67	△46
法人税等合計	225	41
四半期純損失(△)	△1,540	△643
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,542	△645

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,540	△643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△3
為替換算調整勘定	23	△125
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	△22
その他の包括利益合計	△0	△151
四半期包括利益	△1,541	△795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,543	△797
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,314	△602
減価償却費	2,292	961
減損損失	52	23
のれん償却額	109	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△437	△56
販売促進引当金の増減額(△は減少)	85	△0
受取利息及び受取配当金	△36	△4
支払利息	648	53
固定資産除却損	6	10
リース契約解約損	10	-
差入保証金償却額	132	17
預り金の増減額(△は減少)	△216	12
売上債権の増減額(△は増加)	242	195
たな卸資産の増減額(△は増加)	99	18
未収入金の増減額(△は増加)	△17	22
仕入債務の増減額(△は減少)	△554	△430
未払金の増減額(△は減少)	△1,255	19
未払費用の増減額(△は減少)	△193	△164
未払消費税の増減額(△は減少)	△725	△75
入居保証金の増減額(△は減少)	46	-
その他	△6	268
小計	△1,035	270
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△639	△53
法人税等の支払額	△989	△1,865
法人税等の還付額	4	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,656	△1,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,585	△117
有形固定資産の売却による収入	196	2
無形固定資産の取得による支出	△38	△46
資産除去債務の履行による支出	△95	△90
定期預金の預入による支出	-	△1,986
差入保証金の差入による支出	△81	△131
差入保証金の回収による収入	361	317
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	2	2
預託金の差入による支出	△410	-
その他	3	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,649	△2,086

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,761	-
短期借入金の返済による支出	△5,811	△660
長期借入れによる収入	6,176	-
長期借入金の返済による支出	△866	△811
自己株式の処分による収入	-	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,122	△373
配当金の支払額	△0	△359
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,136	△2,204
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△95
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,167	△5,994
現金及び現金同等物の期首残高	9,483	19,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,316	13,058

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	介護	海外 外食	環境	農業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	11,303	9,205	9,127	4,114	609	156	34,516	—	34,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	646	—	—	—	134	79	860	△860	—
計	11,949	9,205	9,127	4,114	743	235	35,376	△860	34,516
セグメント利益又は 損失(△)	△503	343	△134	△211	142	△58	△420	△533	△954

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△420
のれんの償却額	△109
全社費用(注)	△424
その他の調整額	0
四半期連結財務諸表の営業損失(△)	△954

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては52百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	宅食	海外 外食	環境	農業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,472	8,732	3,483	615	156	24,460	-	24,460
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	-	-	49	56	137	△137	-
計	11,504	8,732	3,483	664	212	24,597	△137	24,460
セグメント利益又は 損失(△)	△438	530	△73	△10	△20	△11	△579	△591

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△11
全社費用(注)	△585
その他の調整額	6
四半期連結財務諸表の営業損失(△)	△591

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、介護事業を営むワタミの介護株式会社を売却したことにより、同事業から撤退しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては20百万円であります。

「環境」セグメントにおいて、事業撤退への意思決定を行ったことに伴い、投資の回収が見込めなくなった固定資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては2百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。